

世界のもの博物館——ラベルを完成させろ

Class _____ No. _____ Name _____

 ゴール	展示品ラベルの欠けた情報(どこで作られた・何に使われる)を、受け身の質問で聞き合って完成させる。
使う形	Where was ~ made? It was made in ~. What is ~ used for? It is used for ~.

やり方 ペアで。自分のカードだけを見て、英語で聞き合う

- 1 You are museum staff. Some labels are broken.**
2人は博物館スタッフ。ラベルの情報が一部欠けている
- 2 Ask your partner to fix your labels.**
欠けた項目を Where was it made? / What is it used for? で聞いて記入
- 3 Read the finished labels aloud together.**
完成した4枚のラベルを、受け身の文で読み上げて開館準備完了

※ ここで半分に折る(AさんはAカード、BさんはBカードだけを見る)

Aカード(Aの担当ラベル)		相手に見せない!
そろばん	作られた場所: 日本 / 使いみち: ? (Bに聞く)	
ピアノ	作られた場所: ? (Bに聞く) / 使いみち: 音楽をひくため(playing music)	

Bカード(Bの担当ラベル)		相手に見せない!
そろばん	作られた場所: ? (Aに聞く) / 使いみち: 計算するため(calculating)	
ピアノ	作られた場所: イタリア / 使いみち: ? (Aに聞く)	

- ふりかえり** ☐ Where was ~ made? / What is ~ used for? で質問できた
☐ was made in / is used for の受け身で答えられた
☐ ラベル4項目がすべて埋まり、読み上げ確認できた

先生へ(この活動のねらいと運用)

受け身の疑問・応答を、博物館ラベルという「もの主語が自然な場面」で運用する。受け身の必然性(作った人よりも、もの自体が話題の中心)が構造で伝わる。展示品を地元の名産品に差し替えると郷土学習と接続。読み上げ確認が過去分詞の音の定着ポイント。